

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2014年9月調査）

2014年10月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

—今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2014年7～9月の実績と2014年10～12月の見通しを9月初旬時点でうかがったものであり、1,035社からご協力をいただき、回答率は41.4%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

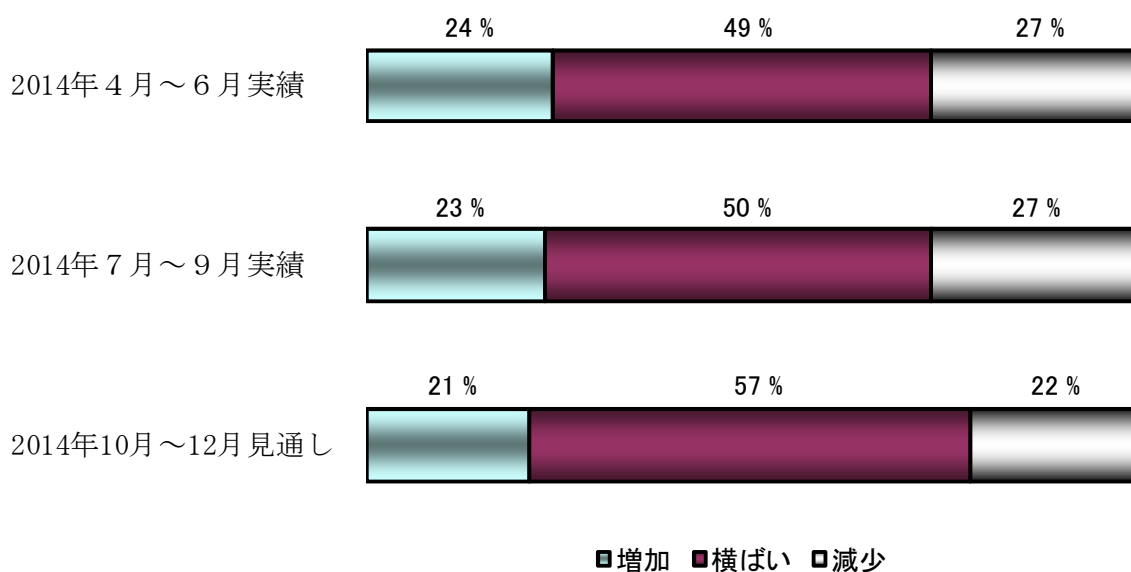
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	105	45.3
	繊 維 ・ 衣 服	111	41	36.9
	木 材 ・ 家 具	96	38	39.6
	パ ル プ ・ 紙	107	46	43.0
	化学・プラスチック	239	115	48.1
	窯 業 ・ 土 石	102	42	41.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	104	53.3
	金 属 製 品	128	52	40.6
	一 般 機 械	222	85	38.3
	電 気 機 械	333	119	35.7
	輸 送 用 機 械	251	94	37.5
	精 密 機 械	67	25	37.3
	そ の 他	167	56	33.5
	計	2,250	922	41.0
卸 売 業	生 産 財	124	56	45.2
	消 費 財	126	57	45.2
	計	250	113	45.2
合 計		2,500	1,035	41.4

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

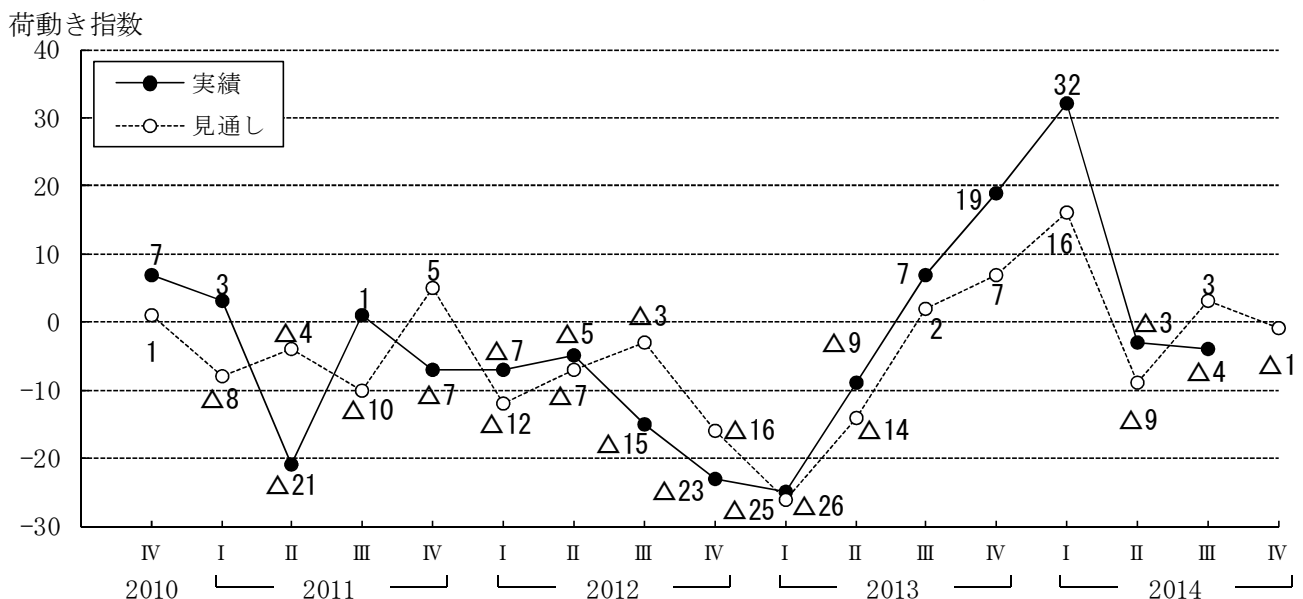
- 7～9月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績より1ポイント低下し23%となった。一方、「減少」との回答は前期と変わらず27%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は1ポイント低下して△4となった。
- 10～12月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（7～9月）実績（見込み）より2ポイント低下し21%となる一方、「減少」との回答も5ポイント低下し22%になる。この結果、『荷動き指数』は3ポイント上昇して△1と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



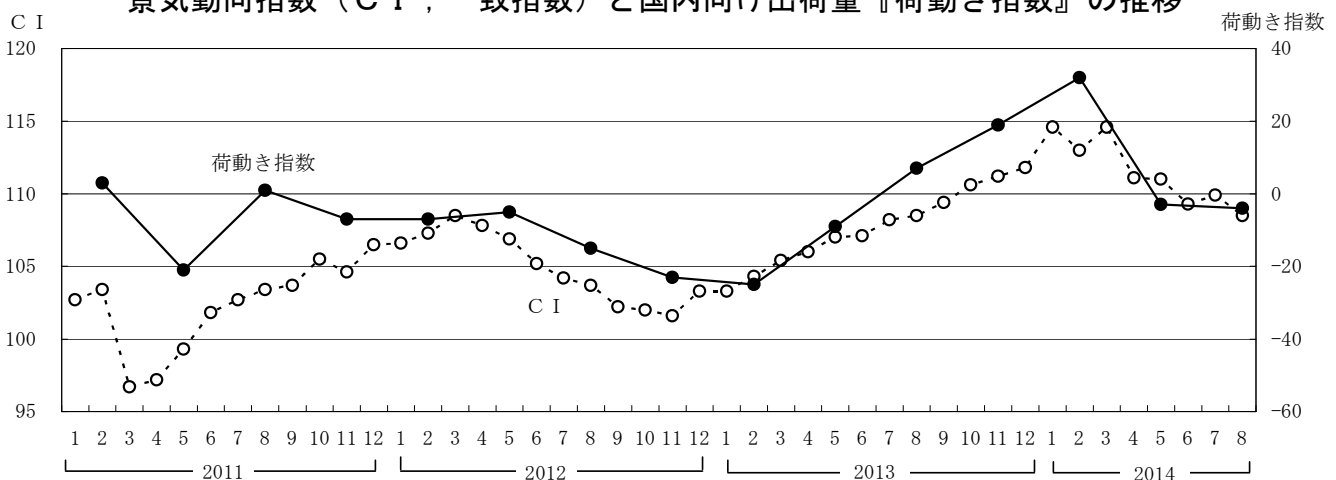
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2013年7～9月実績でプラス7と、2011年7～9月実績以来2年ぶりのプラスに浮上した後、消費税増税前の駆け込み需要の発生などを受けて、10～12月実績ではプラス19、2014年1～3月実績ではプラス32と、本調査を開始した2002年以降では最高値を示した。しかし、駆け込み需要の反動などから、4～6月実績では一転して35ポイントの大幅な下降となり、7～9月実績（見込み）でも引き続き低下した。ただし、10～12月見通しでは3ポイント上昇して△1と、小幅ながら改善するものとみられる。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2014年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2014年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数 (C I ; 一致指数) と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年4月(暫定)、景気の谷は2012年11月(暫定)となっている。

■ 7～9月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、7業種において前期（4～6月）実績よりも上昇する一方、7業種では低下するなど、業種により跛行性がみられた。プラスの業種は鉄鋼・非鉄、輸送用機械など4業種にとどまり、残り11業種がマイナスとなった。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈む一方、食料品・飲料など4業種がプラスに反転し、窯業・土石もゼロ水準まで戻すなど、11業種において前期（7～9月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』の上昇が見込まれる。この結果、食料品・飲料、鉄鋼・非鉄など7業種がプラス、窯業・土石がゼロ水準で、木材・家具、生産財卸など7業種がマイナスになるものとみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	103	21	53	26	△ 5	103	24	59	17	7
繊維・衣服	41	14	54	32	△ 18	41	12	66	22	△ 10
木材・家具	37	24	30	46	△ 22	37	21	38	41	△ 20
パルプ・紙	45	7	60	33	△ 26	45	9	67	24	△ 15
化学・プラスチック	114	16	61	23	△ 7	114	16	72	12	4
製 窯業・土石	42	21	50	29	△ 8	42	21	58	21	0
造 鉄鋼・非鉄	103	35	47	18	17	102	30	49	21	9
業 金 属 製 品	52	17	52	31	△ 14	51	24	57	19	5
一 般 機 械	85	29	45	26	3	85	29	47	24	5
電 気 機 械	117	29	46	25	4	116	25	53	22	3
輸 送 用 機 械	91	33	49	18	15	91	22	54	24	△ 2
精 密 機 械	24	12	67	21	△ 9	24	17	71	12	5
そ の 他	55	21	44	35	△ 14	55	22	45	33	△ 11
計	909	24	50	26	△ 2	906	22	56	22	0
卸 生 産 財	52	19	44	37	△ 18	52	11	58	31	△ 20
売 消 費 財	57	14	51	35	△ 21	57	15	67	18	△ 3
業 計	109	16	48	36	△ 20	109	14	62	24	△ 10
合 計	1,018	23	50	27	△ 4	1,015	21	57	22	△ 1

■ 7～9月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、関東、北陸・信越、中国の3地域でプラスとなる一方、北海道、東北など6地域でマイナスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、4地域で上昇する一方、5地域で低下がみられた。

■ 10～12月の見通しでは、四国、九州・沖縄など6地域で『荷動き指数』が上昇する一方、関東、東海、中国の3地域において低下の動きがみられ、プラスの地域は5地域となる見込みである。各地域とも総じて荷動きは回復傾向にあるものの、地域により若干の温度差がみられる。

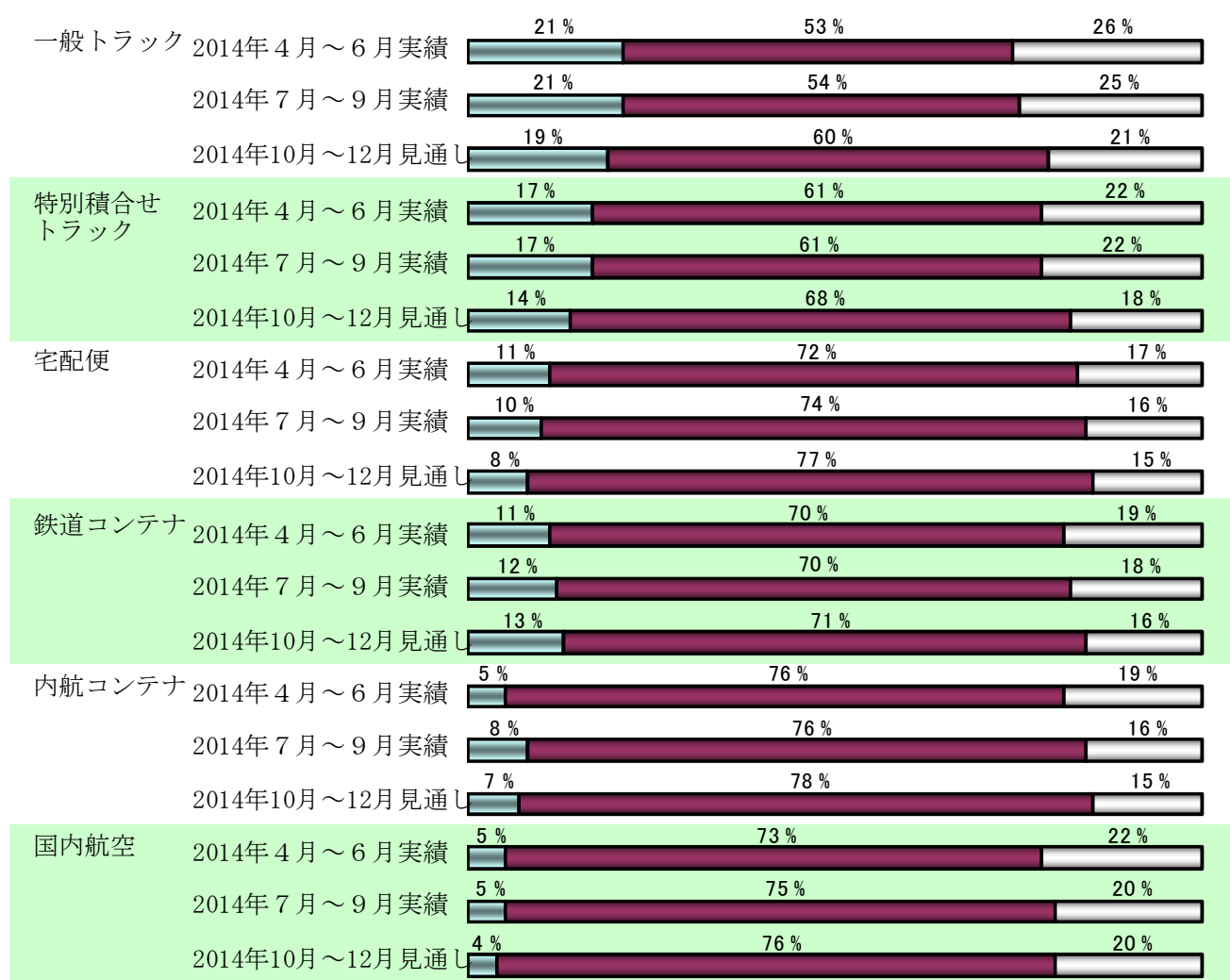
国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し				
	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	52	11	60	29	△ 18	52	15	56	29	△ 14
東 北	96	15	49	36	△ 21	96	16	57	27	△ 11
関 東	258	26	50	24	2	256	22	57	21	1
北 陸・信 越	94	28	50	22	6	94	28	53	19	9
東 海	157	20	48	32	△ 12	157	17	52	31	△ 14
近 畿	156	25	49	26	△ 1	156	24	62	14	10
中 国	84	31	54	15	16	84	18	64	18	0
四 国	54	20	43	37	△ 17	53	28	49	23	5
九 州・沖 縄	67	21	54	25	△ 4	67	25	60	15	10
合 計	1,018	23	50	27	△ 4	1,015	21	57	22	△ 1

－ 2. 輸送機関利用の動向－

- 7～9 月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、特別積合せトラックおよび宅配便では前期（4～6 月）実績から横ばいで推移する一方、その他の輸送機関においては上昇した。ただし、すべての輸送機関において『利用動向指数』はマイナスを示している。
- 10～12 月の見通しでは、引き続きすべての輸送機関において『利用動向指数』がマイナスとなるものの、一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナでは小幅ながら改善の動きがみられる。一方、内航コンテナでは横ばい、宅配便および国内航空では悪化する見込みである。なかでも国内航空では2ケタのマイナスとなり、利用の減退が続く見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■増加 ■横ばい □減少

(1) 一般トラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄、輸送用機械など4業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、木材・家具、パルプ・紙など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△4と、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械および精密機械がマイナスに沈み、電気機械もゼロ水準まで下降する一方、食料品・飲料、化学・プラスチック、金属製品がプラスに浮上し、繊維・衣服もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△2と2ポイント上昇する見通しで、利用の減退は続くものの、改善に向かうものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	101	21	51	28	△7	96	23	56	21	2
	繊維・衣服	33	9	64	27	△18	32	19	62	19	0
	木材・家具	37	16	41	43	△27	37	16	43	41	△25
	パルプ・紙	45	11	56	33	△22	44	9	68	23	△14
	化学・プラスチック	112	17	64	19	△2	109	17	71	12	5
	窯業・土石	42	19	50	31	△12	42	19	60	21	△2
	鉄鋼・非鉄	103	35	50	15	20	103	30	54	16	14
	金属製品	52	11	62	27	△16	51	20	69	11	9
	一般機械	85	27	48	25	2	84	25	54	21	4
	電気機械	110	25	53	22	3	110	20	60	20	0
	輸送用機械	91	29	52	19	10	89	20	56	24	△4
精密機械	18	17	66	17	0	18	5	78	17	△12	
その他	56	20	48	32	△12	56	18	52	30	△12	
計	885	21	54	25	△4	871	20	60	20	0	
卸売業	生産財	50	18	48	34	△16	49	14	59	27	△13
	消費財	54	17	50	33	△16	54	15	65	20	△5
	計	104	17	49	34	△17	103	15	62	23	△8
合計	989	21	54	25	△4	974	19	60	21	△2	

(2) 特別積合せトラック

■ 7～9月実績(見込み)の『利用動向指数』は、一般機械など4業種がプラスで、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△5と、前期(4～6月)実績からは横ばいで推移した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および電気機械がマイナスに沈む一方、金属製品がプラスに浮上するなど、10業種において上昇がみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△4と強含み横ばいで推移する見通しで、利用の減退は続くものの、いくぶん改善に向かうものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業 種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	74	23	57	20	3	72	21	63	16	5
	繊維・衣服	30	13	47	40	△27	30	10	63	27	△17
	木材・家具	24	21	50	29	△8	24	21	54	25	△4
	パルプ・紙	28	14	61	25	△11	28	11	71	18	△7
	化学・プラスチック	99	12	65	23	△11	98	11	76	13	△2
	窯業・土石	33	9	73	18	△9	33	3	88	9	△6
	鉄鋼・非鉄	59	19	66	15	4	59	15	65	20	△5
	金属製品	35	6	74	20	△14	35	14	75	11	3
	一般機械	63	25	61	14	11	63	22	61	17	5
	電気機械	95	26	57	17	9	94	18	62	20	△2
	輸送用機械	68	19	59	22	△3	68	10	65	25	△15
	精密機械	13	8	77	15	△7	13	0	85	15	△15
	その他	40	14	53	33	△19	41	14	59	27	△13
計	661	18	61	21	△3	658	14	67	19	△5	
卸 売 業	生産財	44	16	59	25	△9	43	12	72	16	△4
	消費財	39	10	59	31	△21	39	10	75	15	△5
	計	83	13	59	28	△15	82	11	73	16	△5
合計	744	17	61	22	△5	740	14	68	18	△4	

(3) 宅配便

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、一般機械および輸送用機械がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△6と、前期（4～6月）実績からは横ばいで推移した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石および金属製品がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す一方、輸送用機械がマイナスに沈むほか、化学・プラスチック、電気機械などでマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と弱含み横ばいで推移する見通しで、利用は引き続き減退するものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	83	11	70	19	△8	79	11	70	19	△8
	繊維・衣服	35	3	83	14	△11	35	6	80	14	△8
	木材・家具	30	13	67	20	△7	30	6	77	17	△11
	パルプ・紙	23	9	65	26	△17	23	9	74	17	△8
	化学・プラスチック	87	6	83	11	△5	84	2	85	13	△11
	窯業・土石	34	3	91	6	△3	34	3	97	0	3
	鉄鋼・非鉄	62	3	84	13	△10	62	3	86	11	△8
	金属製品	42	12	69	19	△7	41	10	85	5	5
	一般機械	78	23	67	10	13	77	19	65	16	3
	電気機械	104	9	79	12	△3	103	7	76	17	△10
	輸送用機械	75	13	76	11	2	75	9	78	13	△4
	精密機械	24	16	63	21	△5	24	17	66	17	0
	その他	44	7	68	25	△18	43	9	63	28	△19
計	721	10	75	15	△5	710	8	77	15	△7	
卸 売 業	生産財	44	9	68	23	△14	43	7	81	12	△5
	消費財	49	8	65	27	△19	49	8	74	18	△10
	計	93	8	67	25	△17	92	8	77	15	△7
合計	814	10	74	16	△6	802	8	77	15	△7	

(4) 鉄道コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄がプラス、金属製品がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△6と、前期（4～6月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙がマイナスに沈む一方、繊維・衣服および金属製品がプラスに浮上し、木材・家具もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と3ポイント上昇する見通しで、利用の減退は続くものの、改善に向かうものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	55	18	69	13	5	54	24	65	11	13	
繊維・衣服	9	0	78	22	△22	9	33	56	11	22	
木材・家具	19	11	63	26	△15	19	21	58	21	0	
パルプ・紙	34	12	79	9	3	34	6	82	12	△6	
化学・プラスチック	83	10	73	17	△7	83	11	73	16	△5	
窯業・土石	18	5	56	39	△34	17	0	76	24	△24	
鉄鋼・非鉄	40	18	73	9	9	40	18	75	7	11	
金属製品	22	9	82	9	0	22	9	86	5	4	
一般機械	37	8	78	14	△6	37	8	81	11	△3	
電気機械	34	14	62	24	△10	34	8	68	24	△16	
輸送用機械	32	12	63	25	△13	32	12	66	22	△10	
精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	71	29	△29	
その他	23	13	57	30	△17	23	13	57	30	△17	
計	413	12	70	18	△6	411	12	72	16	△4	
卸売業	生産財	12	8	75	17	△9	12	8	67	25	△17
	消費財	21	10	57	33	△23	21	10	71	19	△9
	計	33	9	64	27	△18	33	9	70	21	△12
合計	446	12	70	18	△6	444	13	71	16	△3	

(5) 内航コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料が唯一プラスを示し、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、木材・家具、生産財卸など10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△8と、前期（4～6月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械がプラスに浮上する一方、窯業・土石および鉄鋼・非鉄がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△8と横ばいで推移する見通しで、利用は引き続き減退するものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	38	18	69	13	5	36	17	69	14	3
	繊維・衣服	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	木材・家具	10	0	70	30	△30	10	10	70	20	△10
	パルプ・紙	14	7	79	14	△7	14	7	79	14	△7
	化学・プラスチック	50	2	86	12	△10	50	2	88	10	△8
	窯業・土石	12	17	66	17	0	12	8	75	17	△9
	鉄鋼・非鉄	25	8	84	8	0	25	8	76	16	△8
	金属製品	16	0	81	19	△19	16	0	81	19	△19
	一般機械	33	9	82	9	0	33	12	79	9	3
	電気機械	28	7	75	18	△11	29	7	76	17	△10
	輸送用機械	28	7	75	18	△11	28	0	79	21	△21
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	その他	20	15	55	30	△15	20	15	55	30	△15
計	284	8	77	15	△7	283	7	77	16	△9	
卸売業	生産財	6	0	67	33	△33	6	0	67	33	△33
	消費財	16	6	69	25	△19	16	0	94	6	△6
	計	22	5	68	27	△22	22	0	86	14	△14
合計	306	8	76	16	△8	305	7	78	15	△8	

(6) 国内航空

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、プラスの業種は皆無であり、繊維・衣服およびパルプ・紙がゼロ水準で、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』は△15で、前期(4～6月)実績からは2ポイント上昇した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻す一方、電気機械、輸送用機械など6業種でマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△16と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

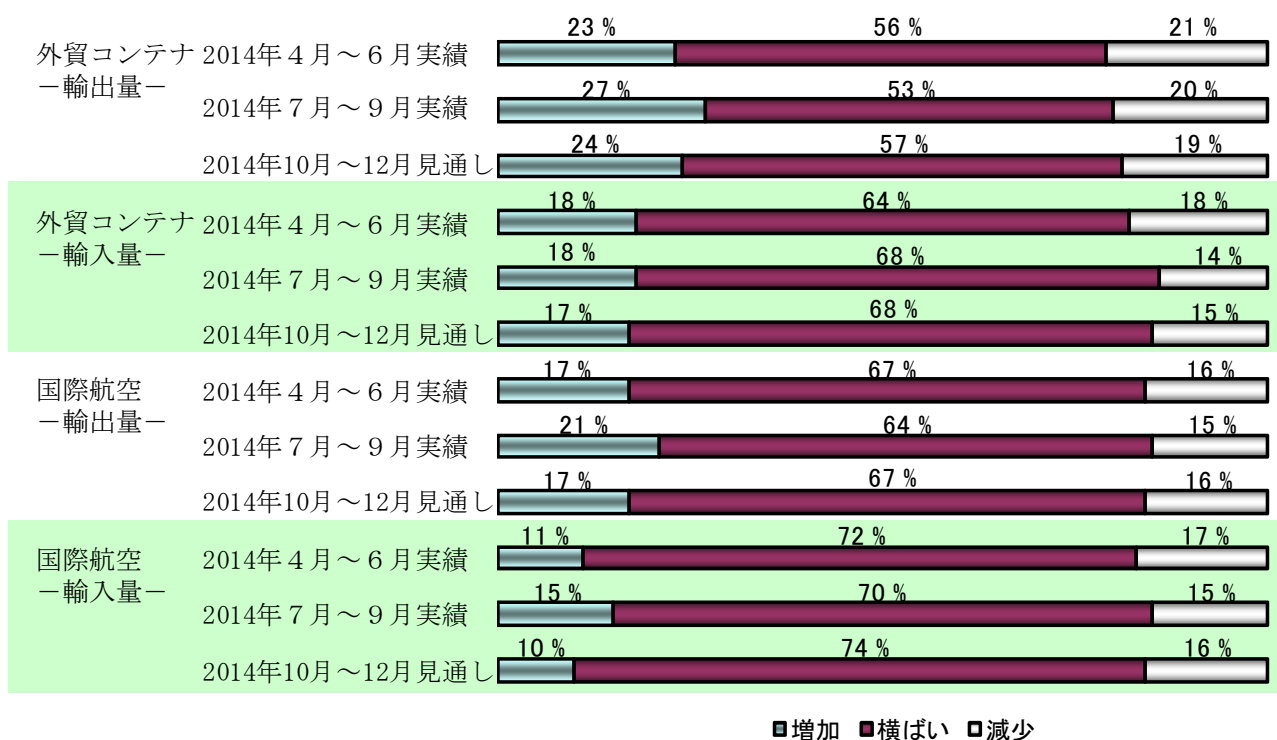
業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	25	0	56	44	△44	25	0	60	40	△40
	繊維・衣服	10	10	80	10	0	10	10	90	0	10
	木材・家具	8	12	63	25	△13	8	0	75	25	△25
	パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	化学・プラスチック	34	0	94	6	△6	33	0	94	6	△6
	窯業・土石	11	9	73	18	△9	10	10	70	20	△10
	鉄鋼・非鉄	21	5	71	24	△19	21	0	76	24	△24
	金属製品	19	0	95	5	△5	18	6	88	6	0
	一般機械	44	7	77	16	△9	43	12	67	21	△9
	電気機械	54	11	65	24	△13	53	5	70	25	△20
	輸送用機械	30	0	90	10	△10	30	0	83	17	△17
	精密機械	11	9	73	18	△9	11	0	82	18	△18
	その他	17	0	53	47	△47	18	0	56	44	△44
計	289	5	75	20	△15	285	4	75	21	△17	
卸売業	生産財	12	0	75	25	△25	12	0	75	25	△25
	消費財	16	6	69	25	△19	16	6	81	13	△7
	計	28	4	71	25	△21	28	3	79	18	△15
合計	317	5	75	20	△15	313	4	76	20	△16	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において前期（4～6月）よりも上昇し、国際航空の輸入でゼロ水準にとどまったものの、その他の輸送機関ではプラスを示した。

■ 10～12月の見通しでは、すべての輸送機関において『荷動き指数』が悪化する見込みである。外貨コンテナの輸出・輸入、国際航空の輸出ではプラスを維持する一方、国際航空の輸入ではマイナスに沈むものとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄など8業種がプラス、木材・家具および窯業・土石がゼロ水準で、繊維・衣服、精密機械など5業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、窯業・土石、金属製品、その他の製造業がプラスに浮上する一方、食料品・飲料および木材・家具がマイナスに沈み、生産財卸および消費財卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は2ポイント低下してプラス5と見込まれ、荷動きの拡大が続くものの、増勢は若干減速するものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	16	38	31	31	7	16	25	44	31	△ 6
	繊維・衣服	14	0	64	36	△ 36	14	21	43	36	△ 15
	木材・家具	6	33	33	33	0	6	0	67	33	△ 33
	パルプ・紙	18	22	67	11	11	18	39	50	11	28
	化学・プラスチック	62	32	57	11	21	62	24	63	13	11
	窯業・土石	20	30	40	30	0	20	40	35	25	15
	鉄鋼・非鉄	48	33	57	10	23	48	29	61	10	19
	金属製品	22	18	59	23	△ 5	22	23	64	13	10
	一般機械	59	31	51	18	13	59	29	51	20	9
	電気機械	52	29	58	13	16	53	19	68	13	6
	輸送用機械	53	26	42	32	△ 6	53	19	51	30	△ 11
	精密機械	11	9	55	36	△ 27	11	18	46	36	△ 18
	その他	25	12	68	20	△ 8	25	20	68	12	8
計	406	27	53	20	7	407	25	57	18	7	
卸売業	生産財	11	27	55	18	9	11	18	64	18	0
	消費財	12	25	58	17	8	12	17	66	17	0
	計	23	26	57	17	9	23	17	66	17	0
合計	429	27	53	20	7	430	24	57	19	5	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、鉄鋼・非鉄、電気機械など6業種がプラス、パルプ・紙、金属製品、輸送用機械の3業種がゼロ水準で、木材・家具、窯業・土石など6業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス4で、前期（4～6月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに浮上し、繊維・衣服もゼロ水準まで戻す一方、輸送用機械がマイナスに沈み、生産財卸および消費材卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は2ポイント低下してプラス2と見込まれ、荷動きの拡大が続くものの、増勢は減速するものとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	17	17	59	24	△7	18	28	56	16	12
	繊維・衣服	14	7	79	14	△7	14	14	72	14	0
	木材・家具	10	0	70	30	△30	9	0	56	44	△44
	パルプ・紙	12	8	84	8	0	12	8	84	8	0
	化学・プラスチック	51	12	84	4	8	51	14	80	6	8
	窯業・土石	20	10	60	30	△20	20	20	50	30	△10
	鉄鋼・非鉄	31	23	68	9	14	31	13	81	6	7
	金属製品	18	11	78	11	0	18	11	78	11	0
	一般機械	57	21	68	11	10	57	26	62	12	14
	電気機械	53	30	59	11	19	53	25	68	7	18
	輸送用機械	52	17	66	17	0	52	11	62	27	△16
	精密機械	11	9	73	18	△9	11	9	64	27	△18
	その他	26	19	58	23	△4	25	12	68	20	△8
計	372	17	69	14	3	371	17	68	15	2	
卸売業	生産財	21	19	67	14	5	21	14	72	14	0
	消費財	19	26	53	21	5	19	16	68	16	0
	計	40	23	60	17	6	40	15	70	15	0
合計	412	18	68	14	4	411	17	68	15	2	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械、電気機械など6業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、窯業・土石、輸送用機械など5業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス6で、前期（4～6月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、生産財卸がプラスに浮上する一方、鉄鋼・非鉄など4業種がマイナスに沈み、パルプ・紙および化学・プラスチックもゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は5ポイント低下してプラス1と見込まれ、荷動きはほぼ横ばいの動きになるものとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	6	0	50	50	△ 50	6	0	67	33	△ 33
	繊維・衣服	8	25	50	25	0	8	25	50	25	0
	木材・家具	4	25	50	25	0	4	0	75	25	△ 25
	パルプ・紙	4	25	75	0	25	4	0	100	0	0
	化学・プラスチック	38	11	84	5	6	38	8	84	8	0
	窯業・土石	15	6	67	27	△ 21	15	7	73	20	△ 13
	鉄鋼・非鉄	23	22	56	22	0	23	13	65	22	△ 9
	金属製品	15	20	67	13	7	14	7	79	14	△ 7
	一般機械	54	28	57	15	13	54	30	52	18	12
	電気機械	66	36	58	6	30	66	29	64	7	22
	輸送用機械	40	12	68	20	△ 8	40	4	73	23	△ 19
	精密機械	16	19	69	12	7	16	6	75	19	△ 13
	その他	12	8	75	17	△ 9	12	17	58	25	△ 8
計	301	22	64	14	8	300	17	67	16	1	
卸売業	生産財	9	22	56	22	0	9	33	45	22	11
	消費財	8	0	75	25	△ 25	8	0	88	12	△ 12
	計	17	11	65	24	△ 13	17	18	64	18	0
合計	318	21	64	15	6	317	17	67	16	1	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械など4業種がプラス、パルプ・紙、金属製品、消費材卸の3業種がゼロ水準で、一般機械、輸送用機械など8業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はゼロ水準で、前期（4～6月）実績からは6ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、消費財卸がプラスに浮上する一方、化学・プラスチックおよび生産財卸がマイナスに沈み、鉄鋼・非鉄もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は6ポイント低下して△6と見込まれ、荷動きは減退に向かうものとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

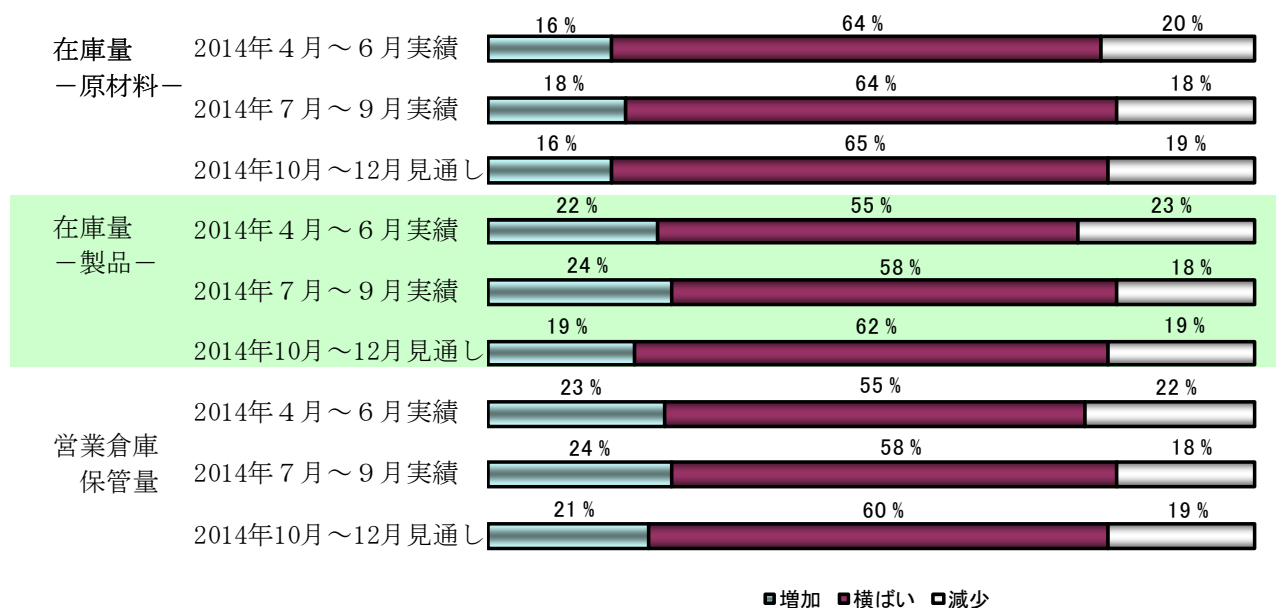
業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	6	0	50	50	△ 50	6	0	50	50	△ 50
	繊維・衣服	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
	木材・家具	4	25	25	50	△ 25	4	0	50	50	△ 50
	パルプ・紙	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	化学・プラスチック	34	9	85	6	3	34	6	85	9	△ 3
	窯業・土石	12	8	67	25	△ 17	12	0	75	25	△ 25
	鉄鋼・非鉄	18	17	78	5	12	18	6	88	6	0
	金属製品	13	15	70	15	0	12	17	66	17	0
	一般機械	43	9	72	19	△ 10	43	12	72	16	△ 4
	電気機械	58	34	56	10	24	57	26	63	11	15
	輸送用機械	40	10	75	15	△ 5	40	0	83	17	△ 17
	精密機械	16	0	81	19	△ 19	16	12	69	19	△ 7
	その他	14	0	71	29	△ 29	15	0	60	40	△ 40
計	269	14	70	16	△ 2	268	10	73	17	△ 7	
卸売業	生産財	12	33	50	17	16	12	8	75	17	△ 9
	消費財	10	10	80	10	0	10	10	90	0	10
	計	22	23	64	13	10	22	9	82	9	0
合計	291	15	70	15	0	290	10	74	16	△ 6	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 7～9月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、『動向指数』は前期(4～6月)実績よりも上昇した。この結果、製品在庫および営業倉庫保管量では『動向指数』はプラスとなり、原材料在庫でもゼロ水準まで戻した。

■ 10～12月の見通しについては、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』が低下し、営業倉庫保管量で小幅なプラスにとどまるものの、原材料在庫および製品在庫ではマイナスに沈む。このため、在庫圧縮の圧力および営業倉庫保管量に対する削減圧力は若干強まるものとみられる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、繊維・衣服、一般機械など8業種がプラスで、金属製品、精密機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はゼロ水準で、前期（4～6月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻す一方、輸送用機械、その他の製造業など6業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は3ポイント低下して△3と見込まれ、原材料在庫の圧縮圧力がいくぶん強まるものとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	92	15	63	22	△7	91	16	69	15	1
繊維・衣服	33	15	79	6	9	33	9	73	18	△9
木材・家具	33	15	61	24	△9	32	13	59	28	△15
パルプ・紙	38	16	74	10	6	38	16	71	13	3
化学・プラスチック	103	17	70	13	4	103	11	74	15	△4
窯業・土石	40	15	60	25	△10	40	17	63	20	△3
鉄鋼・非鉄	96	20	64	16	4	96	14	69	17	△3
金属製品	41	5	68	27	△22	40	15	70	15	0
一般機械	73	26	66	8	18	73	25	63	12	13
電気機械	101	23	55	22	1	100	21	55	24	△3
輸送用機械	81	22	63	15	7	81	16	58	26	△10
精密機械	20	15	55	30	△15	20	15	60	25	△10
その他	50	22	58	20	2	50	12	66	22	△10
計	801	19	64	17	2	797	16	65	19	△3
卸売業										
生産財	31	19	58	23	△4	31	13	58	29	△16
消費財	33	15	58	27	△12	32	9	72	19	△10
計	64	17	58	25	△8	63	11	65	24	△13
合計	865	18	64	18	0	860	16	65	19	△3

(2) 在庫量 —製品—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、繊維・衣服、一般機械など10業種がプラスで、金属製品、消費材卸など5業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス6で、前期（4～6月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、食料品・飲料および金属製品がゼロ水準まで戻す一方、その他の製造業など4業種がマイナスに沈み、繊維・衣服および電気機械でもゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は6ポイント低下してゼロ水準と見込まれ、製品在庫には変化はないものとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	91	18	60	22	△4	91	16	68	16	0
	繊維・衣服	35	37	57	6	31	35	20	60	20	0
	木材・家具	34	29	53	18	11	33	18	61	21	△3
	パルプ・紙	40	25	63	12	13	40	23	63	14	9
	化学・プラスチック	110	27	58	15	12	109	21	62	17	4
	窯業・土石	42	24	55	21	3	42	14	67	19	△5
	鉄鋼・非鉄	97	23	58	19	4	97	19	65	16	3
	金属製品	44	13	55	32	△19	43	21	58	21	0
	一般機械	75	32	60	8	24	75	33	54	13	20
	電気機械	105	25	53	22	3	104	18	64	18	0
	輸送用機械	85	24	64	12	12	85	16	62	22	△6
	精密機械	22	9	73	18	△9	22	9	73	18	△9
	その他	52	33	48	19	14	52	15	60	25	△10
計	832	25	58	17	8	828	19	63	18	1	
卸売業	生産財	53	22	53	25	△3	53	19	55	26	△7
	消費財	49	14	62	24	△10	48	6	75	19	△13
	計	102	18	57	25	△7	101	13	64	23	△10
合計	934	24	58	18	6	929	19	62	19	0	

(3) 営業倉庫保管量

■ 7～9月実績（見込み）の『保管動向指数』は、窯業・土石、その他の製造業、消費財卸の3業種がマイナス、精密機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス6で、前期（4～6月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 10～12月の『保管動向指数』見通しでは、木材・家具、精密機械など5業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『保管動向指数』は4ポイント低下してプラス2と見込まれ、営業倉庫保管量は引き続き拡大するものの、増勢は鈍化するものとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

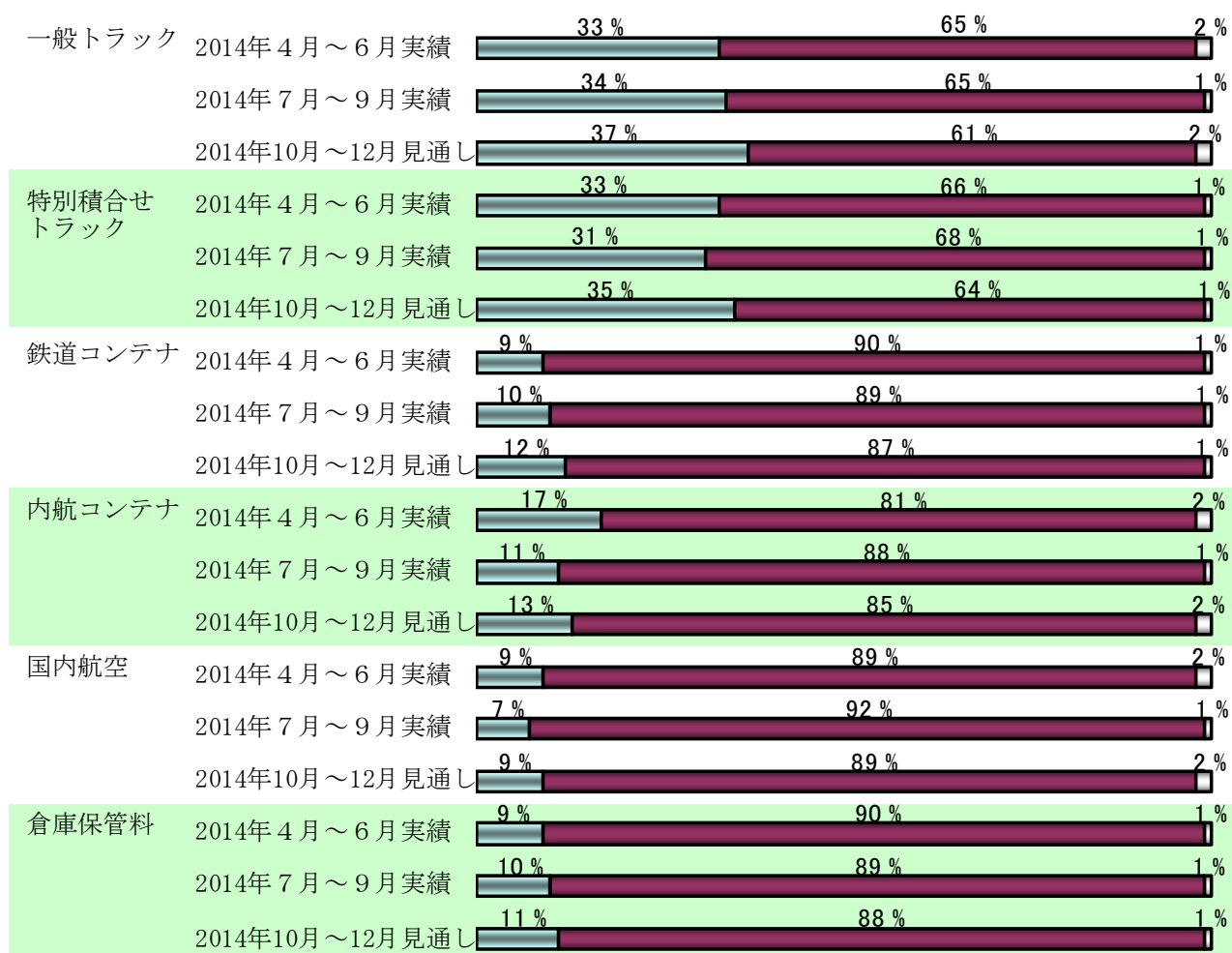
業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	72	29	50	21	8	72	28	56	16	12
繊維・衣服	20	40	45	15	25	20	30	55	15	15
木材・家具	27	22	59	19	3	27	15	59	26	△11
パルプ・紙	38	32	55	13	19	38	24	61	15	9
化学・プラスチック	95	23	62	15	8	96	15	65	20	△5
製造業 窯業・土石	27	15	41	44	△29	27	15	48	37	△22
鉄鋼・非鉄	70	23	61	16	7	71	21	68	11	10
金属製品	28	21	65	14	7	27	26	63	11	15
一般機械	57	37	51	12	25	57	33	53	14	19
電気機械	68	21	60	19	2	68	22	57	21	1
輸送用機械	58	19	66	15	4	58	19	57	24	△5
精密機械	13	15	70	15	0	13	8	69	23	△15
その他	37	22	51	27	△5	37	16	57	27	△11
計	610	25	57	18	7	611	22	59	19	3
卸売業 生産財	41	27	56	17	10	41	20	56	24	△4
消費財	40	14	63	23	△9	40	4	83	13	△9
計	81	21	59	20	1	81	12	69	19	△7
合計	691	24	58	18	6	692	21	60	19	2

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 7～9月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関でプラスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、一般トラック、鉄道コンテナ、倉庫保管料で『動向指数』が上昇する一方、特別積合せトラック、内航コンテナ、国内航空では低下がみられた。

■ 10～12月の『動向指数』見通しについては、すべての機関において上昇方向に動き、引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなる見込みである。また、国内航空以外の機関において『動向指数』が2ケタのプラスとなり、増勢がさらに強まる見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



■値上り ■変わらず □値下り

(1) 一般トラック運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り14業種が2ケタのプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス33で、前期(4～6月)実績からは2ポイント上昇した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料、化学・プラスチックなど過半数の業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス35と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	101	47	53	0	47	100	51	47	2	49
	繊維・衣服	34	38	62	0	38	34	38	62	0	38
	木材・家具	36	47	53	0	47	36	42	58	0	42
	パルプ・紙	43	23	75	2	21	43	30	68	2	28
	化学・プラスチック	112	44	55	1	43	111	48	52	0	48
	窯業・土石	41	39	56	5	34	41	39	59	2	37
	鉄鋼・非鉄	100	36	64	0	36	99	40	60	0	40
	金属製品	50	32	66	2	30	49	39	59	2	37
	一般機械	83	31	68	1	30	83	28	71	1	27
	電気機械	108	30	69	1	29	108	35	62	3	32
	輸送用機械	86	20	78	2	18	86	21	76	3	18
	精密機械	18	6	88	6	0	18	11	78	11	0
	その他	55	29	69	2	27	54	30	69	1	29
	計	867	34	65	1	33	862	37	61	2	35
卸売業	生産財	50	38	62	0	38	49	33	65	2	31
	消費財	54	33	67	0	33	53	43	57	0	43
	計	104	36	64	0	36	102	38	61	1	37
合計	971	34	65	1	33	964	37	61	2	35	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り14業種が2ケタのプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス30で、前期(4～6月)実績からは2ポイント低下した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料、化学・プラスチックなど過半数の業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は4ポイント上昇してプラス34と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	72	49	51	0	49	71	58	41	1	57
	繊維・衣服	30	40	60	0	40	30	40	57	3	37
	木材・家具	25	28	72	0	28	25	28	72	0	28
	パルプ・紙	27	30	67	3	27	26	38	58	4	34
	化学・プラスチック	99	37	61	2	35	98	44	56	0	44
	窯業・土石	34	38	62	0	38	34	38	62	0	38
	鉄鋼・非鉄	61	28	72	0	28	61	31	69	0	31
	金属製品	36	33	67	0	33	36	33	64	3	30
	一般機械	63	29	71	0	29	63	25	75	0	25
	電気機械	91	19	81	0	19	92	23	76	1	22
	輸送用機械	65	12	88	0	12	65	17	83	0	17
	精密機械	12	17	66	17	0	12	17	66	17	0
	その他	39	31	67	2	29	39	33	64	3	30
計	654	30	69	1	29	652	34	65	1	33	
卸 売 業	生産財	43	42	58	0	42	42	40	58	2	38
	消費財	37	38	62	0	38	37	43	57	0	43
	計	80	40	60	0	40	79	42	57	1	41
合計	734	31	68	1	30	731	35	64	1	34	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、木材・家具、金属製品、その他の製造業の3業種がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス9で、前期(4～6月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、消費材卸でプラス幅が縮小する一方、食料品・飲料、化学・プラスチックなど5業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス11と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	56	12	88	0	12	56	20	79	1	19
	繊維・衣服	8	12	88	0	12	7	29	71	0	29
	木材・家具	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
	パルプ・紙	33	9	91	0	9	33	9	91	0	9
	化学・プラスチック	83	8	90	2	6	83	12	87	1	11
	窯業・土石	18	11	89	0	11	18	11	89	0	11
	鉄鋼・非鉄	39	13	87	0	13	39	18	82	0	18
	金属製品	22	0	100	0	0	22	0	100	0	0
	一般機械	36	22	78	0	22	37	22	78	0	22
	電気機械	32	9	88	3	6	32	9	88	3	6
	輸送用機械	32	6	91	3	3	32	9	91	0	9
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
その他	24	4	92	4	0	24	4	92	4	0	
計	407	10	89	1	9	407	12	87	1	11	
卸売業	生産財	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7
	消費財	21	10	90	0	10	21	5	95	0	5
	計	35	9	91	0	9	35	6	94	0	6
合計	442	10	89	1	9	442	12	87	1	11	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、食料品・飲料、その他の製造業など10業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス10で、前期（4～6月）実績からは5ポイント低下した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、消費材卸でプラス幅が縮小する一方、食料品・飲料など4業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス11と強含み横ばいでの推移が見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答 社数	構成比(%)			運賃動向 指 数	回答 社数	構成比(%)			運賃動向 指 数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	33	24	76	0	24	33	33	67	0	33
	繊 維 ・ 衣 服	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	木 材 ・ 家 具	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	パ ル プ ・ 紙	14	14	86	0	14	14	21	79	0	21
	化学・プラスチック	52	10	90	0	10	52	13	85	2	11
	窯 業 ・ 土 石	11	18	82	0	18	11	18	82	0	18
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	22	9	91	0	9	22	9	91	0	9
	金 属 製 品	16	6	94	0	6	16	6	94	0	6
	一 般 機 械	33	9	91	0	9	33	9	91	0	9
	電 気 機 械	27	4	96	0	4	27	7	93	0	7
	輸 送 用 機 械	25	4	92	4	0	25	4	92	4	0
	精 密 機 械	8	0	75	25	△ 25	8	0	75	25	△ 25
	そ の 他	19	26	69	5	21	19	26	69	5	21
計	273	11	88	1	10	273	14	85	1	13	
卸 売 業	生 産 財	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	消 費 財	15	20	80	0	20	15	7	93	0	7
	計	21	14	86	0	14	21	5	95	0	5
合 計	294	11	88	1	10	294	13	85	2	11	

(5) 国内航空運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、輸送用機械が唯一マイナスを示し、木材・家具など5業種がゼロ水準で、食料品・飲料、一般機械など9業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス6で、前期（4～6月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび精密機械がマイナスに沈む一方、その他の製造業がプラスに浮上し、輸送用機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス7と強含み横ばいでの推移が見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	19	21	79	0	21	19	21	79	0	21	
繊維・衣服	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12	
木材・家具	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0	
パルプ・紙	4	25	75	0	25	4	25	75	0	25	
化学・プラスチック	35	3	94	3	0	35	0	97	3	△ 3	
窯業・土石	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17	
鉄鋼・非鉄	20	5	95	0	5	20	10	90	0	10	
金属製品	19	5	95	0	5	18	11	89	0	11	
一般機械	46	11	89	0	11	46	13	87	0	13	
電気機械	58	7	93	0	7	59	5	92	3	2	
輸送用機械	31	0	97	3	△ 3	31	3	94	3	0	
精密機械	11	9	82	9	0	11	9	73	18	△ 9	
その他	15	7	86	7	0	15	13	80	7	6	
計	287	7	92	1	6	287	9	89	2	7	
卸売業	生産財	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	消費財	17	12	88	0	12	17	18	82	0	18
	計	29	7	93	0	7	29	10	90	0	10
合計	316	7	92	1	6	316	9	89	2	7	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 7～9月実績（見込み）の『料金動向指数』は、マイナスの業種は皆無であり、窯業・土石およびその他の製造業がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス9で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『料金動向指数』見通しでは、精密機械がゼロ水準まで下降する一方、窯業・土石およびその他の製造業がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『料金動向指数』はプラス10と強含み横ばいで推移が見込まれ、料金水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	67	22	78	0	22	67	27	73	0	27
	繊維・衣服	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
	木材・家具	22	5	95	0	5	22	5	95	0	5
	パルプ・紙	33	15	79	6	9	33	21	73	6	15
	化学・プラスチック	88	7	92	1	6	88	6	92	2	4
	窯業・土石	25	0	100	0	0	24	4	96	0	4
	鉄鋼・非鉄	59	15	85	0	15	59	14	86	0	14
	金属製品	25	12	88	0	12	24	13	83	4	9
	一般機械	54	9	89	2	7	54	11	87	2	9
	電気機械	64	6	92	2	4	65	6	94	0	6
	輸送用機械	51	6	92	2	4	51	6	92	2	4
	精密機械	10	20	70	10	10	10	10	80	10	0
	その他	33	3	94	3	0	33	6	91	3	3
計	549	10	89	1	9	548	11	87	2	9	
卸売業	生産財	35	9	91	0	9	35	11	89	0	11
	消費財	33	9	91	0	9	33	9	91	0	9
	計	68	9	91	0	9	68	10	90	0	10
合計	617	10	89	1	9	616	11	88	1	10	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、7～9月実績（見込み）の『動向指数』は、輸送用機械が唯一1ケタのプラスにとどまる以外は、残り14業種が2ケタのプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス24で、前期（4～6月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『動向指数』見通しでは、精密機械など4業種においてプラス幅が縮小する一方、食料品・飲料、木材・家具など9業種でプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『動向指数』は4ポイント上昇してプラス28と見込まれ、物流コスト割合の拡大はさらに続く見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2014年7月～9月実績					2014年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	97	49	44	7	42	96	56	35	9	47
繊 維 ・ 衣 服	40	33	63	4	29	40	35	58	7	28
木 材 ・ 家 具	38	47	45	8	39	38	53	39	8	45
パ ル プ ・ 紙	44	30	59	11	19	44	32	55	13	19
化学・プラスチック	113	32	59	9	23	113	35	57	8	27
製 窯 業 ・ 土 石	41	37	56	7	30	41	41	52	7	34
造 鉄 鋼 ・ 非 鉄	101	33	60	7	26	101	34	58	8	26
業 金 属 製 品	52	31	62	7	24	52	37	58	5	32
一 般 機 械	85	34	65	1	33	85	34	64	2	32
電 気 機 械	118	32	59	9	23	118	36	52	12	24
輸 送 用 機 械	89	21	63	16	5	89	21	68	11	10
精 密 機 械	24	25	67	8	17	24	17	71	12	5
そ の 他	55	25	64	11	14	55	31	60	9	22
計	897	33	59	8	25	896	36	55	9	27
卸 生 産 財	56	41	52	7	34	56	34	61	5	29
売 消 費 財	54	30	56	14	16	53	34	58	8	26
計	110	35	54	11	24	109	34	60	6	28
合 計	1,007	33	58	9	24	1,005	36	56	8	28